

施策評価シート(平成21年度の振り返り、総括)

作成日 平成 22 年 6 月 24 日

施策No.	35	施策名	生涯スポーツの推進
主管課名	教育課	主管課長名	青木 寿
関係課名	町民福祉課(高齢介護G) 子育て健康課(健康推進G) 観光商工課(観光商工G) 農政課(農政G) 地域整備課(都市計画G)		

施策の目的 【対象】	町民	対象指標名	単位	18年度 実績	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 見込み	23年度 見込み
		人口(外国人含む)	人	24,250	23,809	23,305	22,924	22,591	

施策の目的 【意図】	①テーマ(目的)をもって日頃から運動をしてもらう ※年齢層によって目的が異なる。	成果指標名	単位	18年度 実績	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標
		週に1回以上スポーツをしている町民の割合	%			28.6	33.5	38.0	
成果指標の把握方法と算定式等	①町民アンケートで把握 ※目的についても把握している。								

成果指標設定の考え方	①日頃からテーマをもって運動してもらうことが重要であることから指標とした。日頃からは週一回以上を言う。
------------	-----------------------------------------------------

施策成果向上にむけた住民と行政との役割分担	<p>1)住民の役割 (住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)</p> <p>①自主的に運動し、啓発活動をしてもらう。(団体等についても) ②指導者になってもらい、さらには後継者を育成してもらう。 ③スポーツやレクリエーションの講座やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。</p> <p>2)行政の役割 (町がやるべきこと、都道府県がやるべきこと、国がやるべきこと)</p> <p>&lt;町&gt; ①スポーツマスタープランを策定・進捗管理 ②指導者の育成と指導体制の強化 ③施設の整備 ④スポーツ教室・大会等の開催(意識啓発も含まれる。)</p> <p>&lt;県&gt; ①各種県大会の実施 ②指導者養成講習会</p> <p>&lt;国&gt; ①各種全国大会・国体の実施 ②施設整備への補助金</p>
-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

21年度の  
評価結果

## 1. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較 (現状の水準は?以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

- ①「週に一回以上スポーツしている町民の割合」は、H20が28.6%、H21は33.5%であり約5ポイント伸びた。この要因は、グランドゴルフ人口・ターゲットバードゴルフ人口が増加したこと、その他マスコミなどの健康に関する情報提供の頻度が高かったこと等、外的要素によるものと考えられる。
- ②H20から開始した軽スポーツ教室・ウォーキング教室等の取り組みもポイントを伸ばす要因となった。
- ③H19から協賛金を集め、各競技団体・支部に助成し盛んな取り組みを行っている。
- ④競技は体育協会が主体となって行っている。
- ⑤4月に総合型地域スポーツクラブ(月夜野スポーツクラブ)が設置された。

2) 他団体との比較 (近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は?)

- ①他の市町村と比較し、町の体協組織がしっかりし、活動量・人材ともに充実している。
- ②体育関連施設の数が町村合併に伴い多くなり、利用者が利用しやすくなった。
- ③人工芝の運動広場を所有しているのは、近隣ではみなかみ町だけである。

3) 住民の期待水準との比較 (住民の期待よりも高い水準なのか 同程度なのか、低いのか)、その他の特徴は?

- ①老朽化の進む施設が多くあり、整備に関する要望に応え切れていない。(修繕や設備の機能向上など)
- ②施設の予約に関する方法・形態に工夫が必要。
- ③観光目的で利用する場合の予約方法の統一化が求められてる。

## 2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括

- 1) 軽スポーツ教室・ウォーキング教室などの体育振興事業の実施
- 2) 人工芝運動広場の施設整備が完了した。
- 3) 体育指導委員による体育振興の推進
- 4) H21に町営プール(後閑)を休止し沼田市の市営プールを市民と同額で利用可能とした。
- 5) 県オープニング大会への参加
- 6) H21新規事業として、スポーツ振興補助金を設置し、高齢者スポーツ大会の助成、体育施設の備品購入等を行った。

## 3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- 1) 総合型地域スポーツクラブについて、月夜野地区のものを発展させ、新たな形で各地区へ設置することを検討する。
- 2) みなかみ町のスポーツマスタープランをH22～H23年度で策定する。
- 3) スポーツ振興補助金を活用して、高齢者レクリエーションスポーツ大会を実施する。
- 4) 人工芝運動広場の利用率を高める。(全国レベルの大会の開催できる施設)
- 5) 県民スポーツ祭への参加の必要性を検証する。
- 6) 計画的な施設の修繕を行っていく。